

HOPE!



2009.09

No.13

[市立芦屋病院だより]

進化し続ける市立芦屋病院をめざして～副病院長着任ごあいさつ～ 副病院長 小関 萬里



この度、市立芦屋病院の副病院長(外科)として着任することになりました。

医療界を取巻く厳しい状況については、研修医制度の変更や診療報酬制度を含めた医療制度の改定などと表裏一体をなすもので、以前よりマスコミ等にて「医療崩壊」などの見出しで度々取り上げられております。市立芦屋病院におきましては、すでに新しい運営形態のもとで改革を実施中であり、これを機により質の高い医療の提供をめざし、各部門でのハード面やソフト面のレベルアップを図っていることは皆様周知のことと存じます。このような状況での副病院長着任は、自ずとその責任の重さを感じざるを得ません。

私自身は外科医であり、先ずは外科診療を通じて病院運営に貢献して行きたいと考えております。具体的には、新しい手術分野の開始や、乳腺・内分泌(甲状腺、副腎)外科の充実、これまでの腹腔鏡下手術よりも患者様への負担の少ないSILS (single incision laparoscopic surgery; 単孔式腹腔鏡下手術) を進めることにより、手術件数の増加を図りたいと思っています。また、がん診療にも深く関わっていきたいと考えております。今や日本人の死亡原因の第一位を占め、男性の2人に1人、女性の3人に1人はがんで亡くなる今日、がん診療に対するより質の高い医療の必要性はますます高まっております。一般にがんの治療には長い時間を要し、その間いろいろな手段(手術療法、薬物療法、放射線療法、精神的支援、社会的支援等)を駆使して、病める方を支援していく必要があります。このような一連の治療は一施設のみで完結することは不可能の場合も多く、他の医療施設と有効かつ効果的な連携をとりながら、治療を進めていく必要があります。これには、他の医療施設の理解と協力が必須であり、先ずこのような医療連携の推進を進めることにより市立芦屋病院が市民の皆様にとって、より利用しやすい病院となることをめざしたいと存じます。どうぞ宜しくお願ひいたします。

小関 萬里 副病院長 略歴

出身 青森県弘前市
 昭和 51 年 大阪大学医学部卒業
 大阪大学医学部第一外科勤務
 昭和 53 年 大阪厚生年金病院外科勤務
 昭和 56 年 大阪大学医学部第一外科勤務
 昭和 60 年 香川医科大学第二外科助手
 平成 4 年 米国ニューヨーク州立大学リサーチフェロー
 平成 11 年 国立吳病院外科医長
 平成 15 年 国立病院吳医療センター外科科長
 平成 16 年 独立行政法人国立病院機構吳医療センター・
 中国がんセンター外科系診療部長

専門資格

大阪大学臨床准教授
 日本外科学会認定指導医
 日本消化器外科学会認定指導医
 日本消化器病学会認定医
 日本肝臓学会専門医
 日本がん治療認定医機構暫定教育医
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医、
 消化器がん外科治療認定医

専門分野

消化器外科、乳腺・内分泌外科

◆ 病院からのお願い ◆



インフルエンザかな?と思ったら早めに医師の診断を受けましょう。
 咳、鼻水、のどの痛み、発熱がある方は必ずマスクの着用の上お越しください。
 また、面会ご希望の方はインフルエンザから患者さんを守る為にできるだけお控えください。(今月のHOPE3ページ目『インフルエンザNEWS』もご覧下さい。)

**市立芦屋病院
検診事業
のご案内**

9月から人間ドックは月曜日も実施します!!

当院では月曜日を除く平日のみ人間ドックを実施していましたが、この9月より平日は毎日人間ドックを実施することになりました。

私は健康だから大丈夫と思っている方も実は見えない病気が潜んでいることがあります。

人間ドックでは詳しい検査を多項目にわたり行う為、病気の早期発見に大きな効果があります。

芦屋病院では血液検査や画像診断（レントゲン、CT、エコーなど）のほか、内科、外科、婦人科、眼科の各専門医がそれぞれの検査を担当します。また検診は1日で終了し、その日のうちに結果判定までお知らせすることもでき、時間の無い方も気軽に受診していただく事ができます。（報告書は後日郵送となります。）

体のSOSを早期発見し、早期治療する為にも年に1度は人間ドックを受診しましょう！

料 金	男 性	40,000 円	女 性	42,000 円 (乳がん検診含む)
------------	------------	-----------------	------------	---------------------------

胃内視鏡（胃カメラ）あるいは胃レントゲン検査のお好きな方を選択できます。

オプション項目	CT検査	3,000 円	脳ドック	25,000 円
----------------	-------------	----------------	-------------	-----------------

料金は全て税込みです。

人間ドック予約担当よりご案内

芦屋病院では日帰り人間ドック受付中です!!

国民保険の方には**人間ドックの助成制度**があります。予約の際に詳しくご案内させて頂きますのでぜひ気軽に下記までお問い合わせください。



ご存じですか？～子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券、検診手帳の交付について～

平成21年度より国の経済危機対策の一つとして、一定の年齢に達した女性に対し子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券、検診手帳が交付されることとなりました。

この無料クーポン券、検診手帳をお持ちの方は当院で子宮頸がん・乳がん検診を無料で受けて頂くことができます。対象者には8月末に芦屋市から無料クーポン券、検診手帳が送付されています。ぜひこの機会に受診される事をおすすめします。

◆ ◆ 無料クーポン券、検診手帳の交付対象者は下記のとおり ◆ ◆

<子宮頸がん対象者>

年 齢	生 年 月 日
20歳	昭和63年4月2日～平成元年4月1日
25歳	昭和58年4月2日～昭和59年4月1日
30歳	昭和53年4月2日～昭和54年4月1日
35歳	昭和48年4月2日～昭和49年4月1日
40歳	昭和43年4月2日～昭和44年4月1日

<乳がん対象者>

年 齢	生 年 月 日
40歳	昭和43年4月2日～昭和44年4月1日
45歳	昭和38年4月2日～昭和39年4月1日
50歳	昭和33年4月2日～昭和34年4月1日
55歳	昭和28年4月2日～昭和29年4月1日
60歳	昭和23年4月2日～昭和24年4月1日



子宮頸がん検診は苦痛を伴わない非常に簡単な検査です。毎週金曜日であれば産婦人科の女性医師・宮本愛子先生が担当しています。

また、乳がん検診はマンモグラフィという乳房撮影専用の装置により撮影を行い、当院の女性技師が対応しています。

**人間ドック・各種検診に関する
お問い合わせ・お申し込み先**

市立芦屋病院 業務課医事担当 TEL 0797-31-2156 (代表)
※お電話でのお問い合わせは午後2時～4時30分までとなっています。

インフルエンザNEWS

新型インフルエンザについては、一見落ち着いたかのように思われていましたが、各地域への新型インフルエンザの浸透は継続しており、ここにきてまた増加の傾向にあります。感染しないための予防法、感染した患者さんへの注意点や同居している家族を感染から守る為の対策をまとめましたので以下のことを心がけてください。

患者であるあなたは・・・

- ◆できるだけ外出を控えましょう
- ◆咳エチケットを守りましょう
- ◆手をこまめに洗いましょう
- ◆処方されたお薬は指示通りに最後まで飲みましょう
- ◆水分補給と十分な睡眠を心がけましょう



患者の同居者は・・・

- ◆患者の看護をしたあとなど、手をこまめに洗いましょう
- ◆可能なら患者と別の部屋で過ごしましょう
- ◆マスクの感染予防効果は限定的ですが、患者と接するときには、なるべくマスクを着用しましょう
- ◆患者の使用した食器類や衣類は、通常の洗濯・洗浄及び乾燥を行ってください。
- ◆持病があったり、妊娠している方などが同居している場合には、なるべく別の部屋で過ごすようするなど、より確実な感染予防を心がけてください。また、念のためかかりつけの医師に相談しておきましょう。

せき
咳

エチケット

- 1.周囲の人からなるべく離れてください。
咳やくしゃみのしぶき（飛沫）は約2メートル飛ぶと言われています。
- 2.咳やくしゃみをするときは、他の人から顔をそらせ、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。
他の人にしぶき（飛沫）をかけないように心がけましょう。
マスクをしていない場合には、ティッシュなどで口と鼻を覆うことも大切です。
- 3.使ったティッシュはすぐにゴミ箱へ捨てましょう。
- 4.咳やくしゃみを抑えた手を洗いましょう。
咳やくしゃみを手で覆ったら、手を石鹼で丁寧に洗いましょう。
- 5.マスクを着用してください。
咳、くしゃみが出ている間はマスクを着用しましょう。
使用後のマスクは放置せず、ゴミ箱に捨てましょう。

*咳エチケットに加え、周囲への感染予防では、
手洗いも大切です。
石鹼を使って15秒以上かけて洗いましょう。
洗った後は清潔なタオルやペーパータオルなどで十分に拭き取りましょう。

9月

院内の催し各教室のご案内



芦屋病院マチネーコンサート

テーマ「喜多ちひろ弦楽四重奏」

日時：9月13日(日)14時30分～15時30分

場所：外来棟5階ホール

出演：喜多ちひろ・谷口絵美(バイオリン)

　　ピオラ(渡邊明日香)・チェロ(石塚俊)

問い合わせ：総務課



肝臓病教室

テーマ「肝ガン」

日時：9月25日(金)13時30分～15時

場所：南病棟1階講義室

講師：桐山診療局長・臼井主任医長他

問い合わせ：栄養管理室



市民ギャラリー

テーマ 井沢寿子「生命のかたちー色とフォルムのハーモニーー」

日時：9月1日～9月30日

場所：5階渡り廊下展示ギャラリー

問い合わせ：総務課



両親教室

テーマ「お産の経過・あかちゃんのお風呂」

日時：9月12日(土)10時～12時

場所：南病棟1階講義室

対象：妊娠22週以降の妊婦さんとパートナー(5組10名)

問い合わせ：産婦人科外来(電話は13時以降)



よろず相談

毎週火曜日・金曜日午前10時～12時まで市役所北館1階において芦屋病院看護師が医療よろず相談を行っています。
料金は無料です。気軽にお越し下さい。

病院公開講座のご案内

テーマ「小児の事故予防」

日時：9月19日(土)14時～14時30分

場所：芦屋市民センター401号室

講師：小児科部長 原田由利香氏



今月から事業管理者の佐治先生による新コーナー『事業管理者のつぶやき』がスタートします。医療に関することや日々の身近な出来事などを気軽に皆さんへお伝えできれば…という事業管理者の思いからこのコーナーが始まりました。ぜひ、毎号様々なテーマでお送りしますのでお楽しみください。

事業管理者 のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆

◆名探偵◆

シャーロック・ホームズ、エルキュール・ポアロ、金田一耕助とくれば、誰もが古今の名探偵のラインアップと気付かれるでしょう。登場する推理小説の時代の背景に違いはあれ、彼ら名探偵は、時には虫メガネで証拠を拡大して見つけ、時には証拠品を今まで言う科学検査にかけて分析し、真犯人を指摘します。小説では、名探偵が見事な推理を披露するところでクライマックスを迎えます。しかし、現代科学の目で見れば、名探偵が延々と時間をかけて行った検査であっても、今ならすぐ解析されるものが少なくありません。証拠品の分析では、和歌山カレー事件ではヒ素の化学的分析が行われましたし、中国産毒入りギョーザ事件でも、犯行に使われたメタミドホスの分析から日本国内産ではないと断定されました。髪の毛一本、血痕一滴から個人のDNAが検出され、個人の同定が出来る時代なのです。

DNA判定は、ヒトの遺伝子が個人々々でまったく異なっていることに着目し、その違いを認識できるプローブを用いて、バーコードのようなバンドのパターンにあらわして比較します。一卵性双生児を除いて同一パターンを示すことはないとされ、その個人識別能力は指紋に匹敵するとも言われ、DNA指紋と呼ばれたこともあります。私自身も20年くらい前に大学の研究室で、多胎(双子や三つ子など)の卵性診断(一卵性や二卵性などの判断)にDNA判定を用いて研究していました。当時はまだ分子生物学の黎明期だったので、今なら当たり前のことで研究対象になったのです。

そのDNA判定で大きなミスが起こりました。足利事件のS氏は当時のDNA鑑定を信用した司法によって有罪とされ、服役することになりました。再審、DNA再鑑定の結果、無罪が確定したのはご存じの通りです。事件当時のDNA鑑定能力ではその精度が低く、「千人に一人」程度の識別能力しか無かったのです。現在のDNA鑑定の手法では、その精度が飛躍的に高まり、個人識別能力は「4兆数千万人に一人」となっているそうです。有罪判決を下した司法は、科学的検査を重視するという意味では近代医学を信用したのですが、統計的精度の判断において誤りを犯したように思われます。

近年の医療は、「Evidence Based Medicine(EBM)(証拠に基づいた医学)」が重視されています。すなわち科学的根拠に裏打ちされた診断・治療を行わなければならないのです。私たちは足利事件に見られるような過ちを犯すことなく、眞のEBMに基づいた医療を行うよう自戒しなければなりません。



平成21年6月1日から市立芦屋病院、芦屋セントマリア病院、南芦屋浜病院をつなぐ

『3病院ネットワークバス』運行しています!

毎週月曜日から金曜日の午前8時～午後5時の間、市立芦屋病院、芦屋セントマリア病院、南芦屋浜病院(陽光公園前)をつなぐ病院ネットワークバスを運行しています。ぜひ外来診察の際やお見舞いの際などにご利用ください。(時刻表など詳しくは病院ホームページをご覧下さい。)

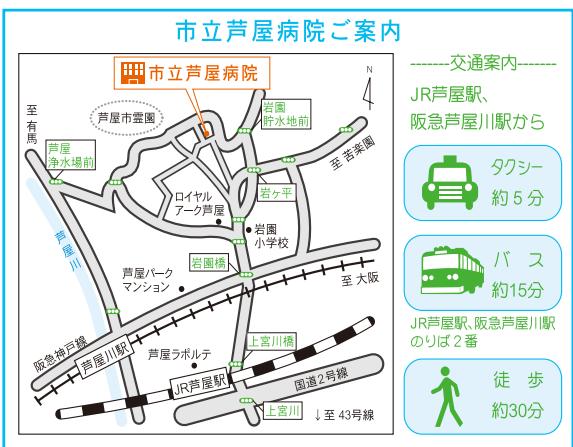


<http://www.ashiya-hosp.com>

市立芦屋病院についてのさらに詳しい情報については、ホームページをご覧下さい。



市立芦屋病院



〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>